※令和４年度以降入学生用

学校番号	１０１４

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	表計算応用	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	30 時間でマスター　Excel VBA　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

最初は手順を記録して作成する「マクロの記録」機能から習得する。徐々にマクロと ExcelVBA を使い分けて、効率の良いプログラム作成が出来るような技術を養っていく。例題を解いた後、演習を行うという作業を繰り返して、演習を行うことにより、プログラムの意味を理解することが出来るようになろう。

2　学習の到達目標

- 即戦力として Excel を使いこなす事が出来るよう ExcelVBA を使用し、簡易プログラムやマクロにつ いての知識や技術を身に付ける。
- 定型業務などで簡単なプログラムを組むことで、仕事の効率化を図る ことができるようになる。
- 定型業務は ExcelVBA を使用して、仕事や活動の効率化を図ろうとする態度を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	マクロと ExcelVBA に関する基礎的･基本的な知 識を身に付け、定型業務の効率化や問題解決に向けて適切に処理する技能を身に着けている。	問題解決において、マクロと ExcelVBA を効果的 に活用するための方法を工夫したり改善できる能力を身に付けている。	マクロと ExcelVBA について関心を持ち、その意義や役割を理解し、諸問題について積極的に取り組む態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期（４月～５月）	ＶＢＡの基礎	ExcelVBA とは	a:マクロを正確に記録できる b:記録したマクロを VBE で効率よく編集できる c:マクロの編集でより効率の良い方法を考えられている。	授業観察 課題提出 実習考査	授業観察 課題提出 実習考査	授業観察 課題提出
	記録マクロの利用	記録マクロの作成 ボタンの使い方 繰り返しと終了判断 変化するデータ範囲	a:正確にマクロの記述ができている。 b:繰り返しの自動化がエラーなく終えることができている。 c:データ範囲の変化や繰り返し作業のより効率の良い方法を選択できている。	授業観察 課題提出 実習考査	授業観察 課題提出 実習考査	授業観察 課題提出
前期・後期（６月～１２）	ワークシートを便利にす	関数とマクロを使った表 条件に合ったデータの印刷	a:条件にあった印刷範囲を正確に選択できている。 b:データ範囲の変更や表データの変更に対応した印刷操作ができている。 c:VBE マクロの効率的なスリム化を図っている。	授業観察 課題提出 実習考査	授業観察 課題提出 実習考査	授業観察 課題提出
後期（１２月～２月）	さまざまなコントロール	イベントとコントロールとは コントロールの使い方 コマンドボタン スピンボタン ラベル	a:各ボタンを正確に設定できている。 b:各ボタンを効率的に選択し、使用することができている。 c:より効率の良いボタンを選択し、プログラムのスリム化を図っている。	授業観察 課題提出 実習考査	授業観察 課題提出 実習考査	授業観察 課題提出
		コントロールの使い方 テキストボックス チェックボックス オプションボタン コントロールの使い方 リストボックス コンボボックス スクロールバー	a:各ボタンを正確に設定できている。 b:各ボタンを効率的に選択し、使用することができている。 c:より効率の良いボタンを選択し、プログラムのスリム化を図っている。	授業観察 課題提出 実習考査	授業観察 課題提出 実習考査	授業観察 課題提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度